

2021 年度（2022 年 4 月助成）日本国土開発未来研究財団

学校教育設備助成金申請書作成の手引き

☆2021 年度（2022 年度 4 月助成）学校教育設備助成募集要項をご一読ください。

☆各項目について留意事項をよくご確認の上、ご記入ください。

☆申請書の作成後、必ず所属機関長の承認を受けてください。

☆申請書類は当財団ホームページよりダウンロードできます。

[一般財団法人 日本国土開発未来研究財団 \(jdc-miraizaidan.or.jp\)](http://jdc-miraizaidan.or.jp)

I：申請書に関する留意事項

1. 申請者（プロジェクト代表者）

- ・プロジェクトの責任者が代表者として申請してください。
- ・助成金は申請者が常勤する教育機関に対して給付されます。
- ・連絡先は郵便物等の送付先となります。必ず申請者本人が受領できる住所を記載してください。私書箱（民間設置を含む）は不可とします。

2. プロジェクト概略

- ・プロジェクトの属する分野を記入してください。
- ・プロジェクトのタイトルと、大まかな内容を記載してください。

3. 申請設備内容

- ・プロジェクト遂行に必要な設備の品目、単価、数量、金額等を記載し、申請金額を算出してください。
- ・単価設定基準として必ず複数の見積を取得し、最低金額を記載してください。
- ・申請金額は 100 万円を超えないようにしてください。

II：プロジェクト概要記入に関する留意事項

A：プロジェクトおよび申請者（プロジェクト代表者）について

2. プロジェクト期間

- ・新規にプロジェクトを開始する場合は開始日を 2022 年 4 月 1 日とし、終了予定日をご記入ください。すでに既存のプロジェクトに対する助成を希望の場合は、開始日、終了予定日をご記入ください。現時点で終了予定がない場合は、その旨ご記入ください。
- ・プロジェクト期間に係わらず、当助成の対象期間は 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までです。ただし助成金で購入した機器類は助成対象期間後も使用いただけます。有効にご利用下さい。

3. 申請者（プロジェクト代表者）のプロジェクト内での役割

- ・申請者（プロジェクト代表者）のプロジェクト内で果たす役割を、略歴と合わせて記載してください。

4. その他プロジェクトリーダーの略歴及びプロジェクト内での役割

- ・申請者（プロジェクト代表者）以外に、プロジェクト内で指導的役割を果たす方がいれば、その方についてご記入ください。複数でも構いません。いない場合は記載不要です。

5. 学生・生徒のプロジェクト内での役割

- ・申請者の所属する教育機関の学生・生徒が果たすプロジェクト内での役割を記載してください。

6. プロジェクトの最終目的

- ・申請するプロジェクトの最終的な目的について簡潔に記載してください。

B: プロジェクトが取り組む課題

1. 教育現場での課題（背景やニーズ）

- ・プロジェクトの背景にはどのような課題やニーズがあるのかをご説明下さい。

2. 上記課題を解決するためのプロジェクトの手法

- ・1に記載の課題を解決するための手法についてご説明下さい。

C: スケジュール

- ・一年間のプロジェクトスケジュールを記載してください。形式は問いませんが、枠内に収まるようにしてください。

D: プロジェクトにおける申請機材の必要性とその使用法

- ・申請される機材がどのようにプロジェクト内で使用されるのか、その必要性や期待される効果について明記してください。

E: 助成期間におけるプロジェクトの成果目標

- ・2021年度（2022年4月助成）の学校教育設備助成の助成対象期間は2022年4月1日から2023年3月31日までです。その期間における申請機材を使用した場合に期待される成果や目標を記載してください。この場合の成果とは、研究成果やリサーチ結果のみではなく、学生・生徒に対する人材育成といった面での成果を含みます。